

「ブラタモリ」に使用された 3D カラーマップ精密地形模型

～カルデラ湖を含む火山地形を例として～

文・写真 芝原暁彦 大道寺覚

写真の模型は、NHK にて放送中の「ブラタモリ」、十和田湖編、および甲府盆地編にて提供した、地形模型である。

コンピュータ数値制御の三次元造型機にて大道寺が削り出した精密な地形模型に、地形可視化ソフトである「カシミール 3D」にて調整した地形段彩図を立体印刷することで製造された。十和田湖の模型では、カルデラ内の地形も造型したうえで、湖面にクリアパーツを装着している。

立体印刷された地図には、本来であれば地図に記載すべき縮尺などの地図記号をあえて記載せず、実際の風景を縮小したミニチュアモデルとなっている。こうした実際の地形に近い凸凹の伴う実体物を番組出演者がハンズオンで観察し、実際の地形と見比べることで、実感を伴って地形や地質を理解する効果を狙ったものである。

ただし十和田湖については、カルデラ湖の深さを明瞭に可視化するため、湖の部分にのみ等深線を印刷するなど、地形やテーマに合わせて模型ごとにより細かなカスタマイズが施されている。

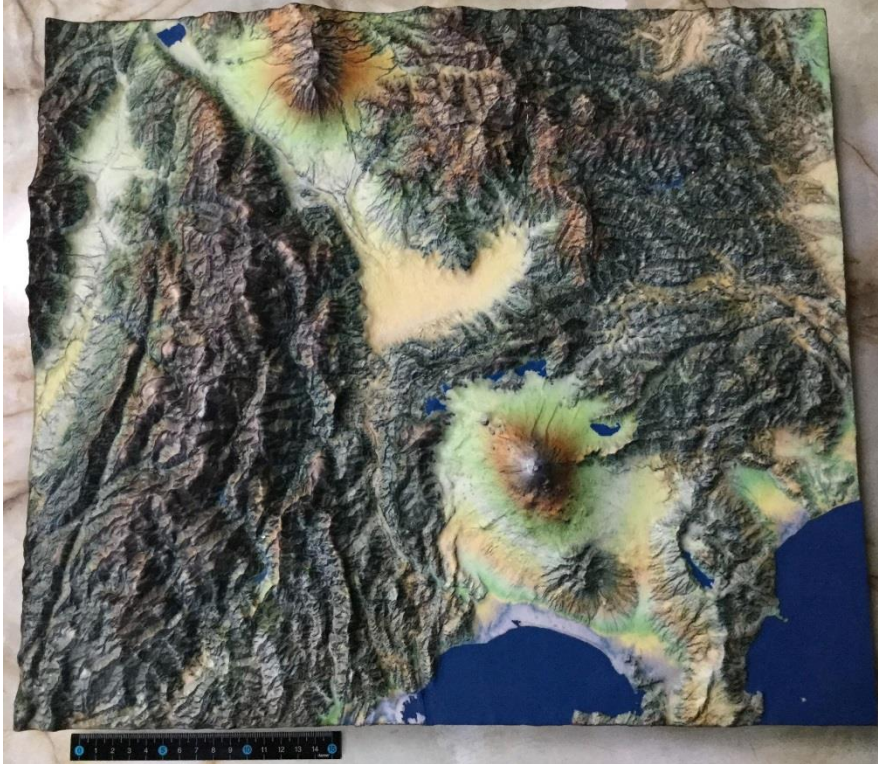
なお、図中のスケールはすべて 15cm である。

謝辞

本原稿の内容についてご快諾いただいた「ブラタモリ」制作デスク／チーフ・ディレクターの石原謙一郎氏に深謝申し上げます。



十和田湖周辺の模型（上：南西から北東方向への俯瞰、下：南から北への俯瞰）
模型寸法は 700mm×600mm、縮尺 1/20,000、Z 軸方向に 1.5 倍強調。



甲府盆地周辺の模型（上：南西から北東方向への俯瞰、下：南から北への俯瞰）
模型寸法は 465mm×413mm、縮尺 1/300,000、Z 軸方向に 3 倍強調。